

「平井まこと」さんってこんな人です

この思いを
原点に

「命は平等」でなければならない

弱い立場の人にこそ政治の光を



誕生 平井まことさんは、下妻市の桐下駄職人の長男として生まれました。お父さんは、絵や書が得意でした。浪曲師もめざす人でした。

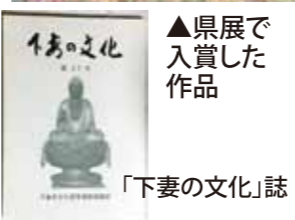
貧困 子どもの頃は病弱で、学校の体育の時間はみんなとは別、運動場の隅で見学していました。中学、高校時代は絵画に取り組みながらも、貧しい家庭だったので、牛乳配達などアルバイトをして家計を助けたこともいい経験でした。

就職 18歳で銀行に就職しました。20歳の時、心臓の手術をしました。10年くらい経って、身体はすっかり元気になりました。

入党 「自分は、手術することができたが、手術費用が準備できない人が多くいる」現実を知りました。

「命は平等でなければならない。そういう社会・政治にしていきたい。」と23歳の時、日本共産党に入党しました。

絵画 20代、60名ほどの絵のグループに参加。絵画クラブの会長を32年間続けました。こんなこともあって、市発行の『下妻の文化』創刊号のための協議会発起人への参加も要請されました。県展に自作の絵を何度も応募、入賞も果たしました。



▲県展で
入賞した
作品

弟は、「将来、兄は画家になるのでは…」と話したほどの腕前です。

市議 42歳の時、市議会議員選挙に立候補することを決意し、当選。市民のみなさんのご支援のおかげで、8期目を迎えました。

いつも「弱い立場の人たち」に寄り添って議員活動を続けています。これまで生活相談は4,000件を超えます。

下妻市議会にはなくてはならない平井まこと議員です。



いのち・くらしが**いちばん**。
安心の下妻市を
ごいっしょに創りましょう

市民の声と発言力で
市政を動かす!!

下妻市議会議員

平井まこと

プロフィール ■1945年(昭和20年)下妻市上宿に生まれる
■県立下妻一高卒 ■東陽相互銀行(現筑波銀行)に24年間勤める
■下妻市議8期目 ■趣味:絵画観賞 ■家族:弟、妹、妹、愛犬チョコビ
■下妻乙569-10(小野子) 在住 ☎0296-44-4068

安倍政治、力合わせて
チェンジしましょう

日本共産党

しもつま民報

2019年10月号外 日本共産党・平井まこと市議の活動をお知らせします。
発行/日本共産党下妻市委員会 ☎0296-44-4068



私も
応援
しています。

平井まことさんは
下妻市議会に
なくてはならない
議員です。



- 倉田淑子 (原)
- 倉茂利夫 (小野子)
- 塚本武 (新屋敷)
- 富田和夫 (大木)
- 平井竜也 (下木戸)
- 望月実 (小島)

平井まこと

だれもが輝く街づくり

税金の使い方を変えれば
市民の願いは
もっと実現できます。



江連用水路のフェンスが改修されました。

砂沼新田T字路への 信号機設置を

現地調査／平井まこと市議

を求めています。

新庁舎建設は情報開示と もっと市民の声を聞いて

夜間応急診療事業は存続を
市では新庁舎建設計画を進めています。これに伴い、保健センターでの夜間応急診療事業の廃止の意向です。市民の命は経済的効率だけで決められるものではありません。継続を求めます。

加齢性難聴者の補聴器購入に助成制度の新設を

出産祝い金制度の新設を

近隣の坂東市、常総市、八千代町では「祝い金」を支給しています。少子化の時、子育て支援策は待ったなしの課題です。

学校給食のパンは安全な国産小麦・地産地消で

輸入小麦で作られたパンから発ガン性の疑いがある除草剤・グリホサートが検出され問題になっています。日本は小麦の8割超を輸入しています。